

2. 公共施設の現状

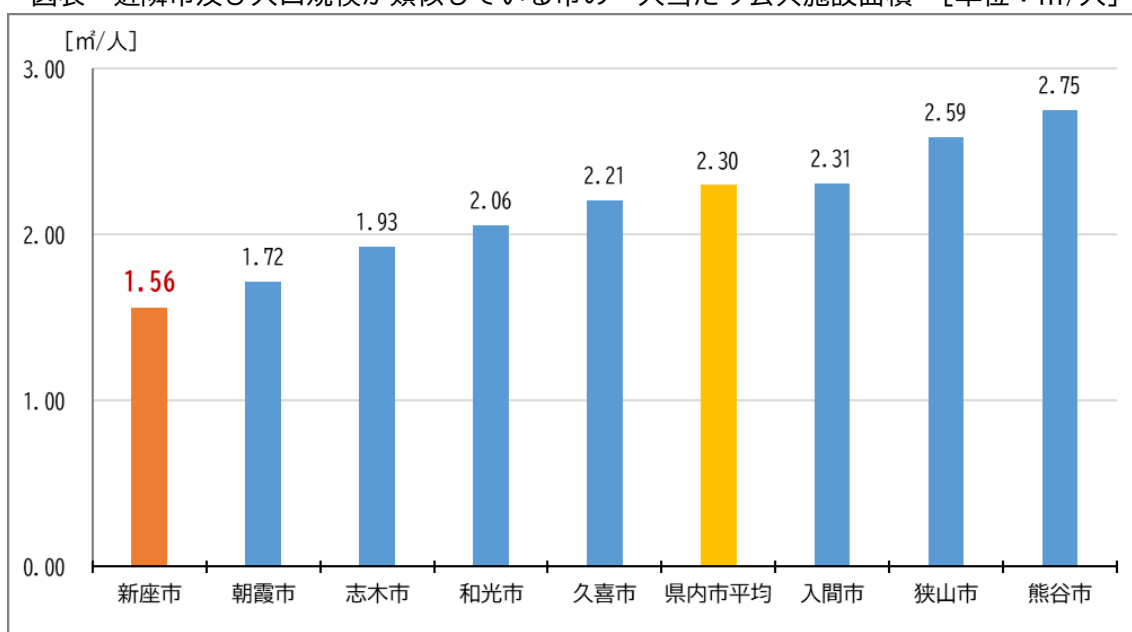
2-1. 公共施設の状況

(1) 施設保有量

本計画の対象となる公共施設の延床面積は令和7年(2025年)3月末時点で約245,411㎡となっています。

また、令和5年(2023年)3月末時点では、市民一人当たり公共施設面積は1.56㎡となっており、県内の近隣市及び人口規模が類似している自治体との比較において、一人当たりの公共施設面積が少なくなっています。

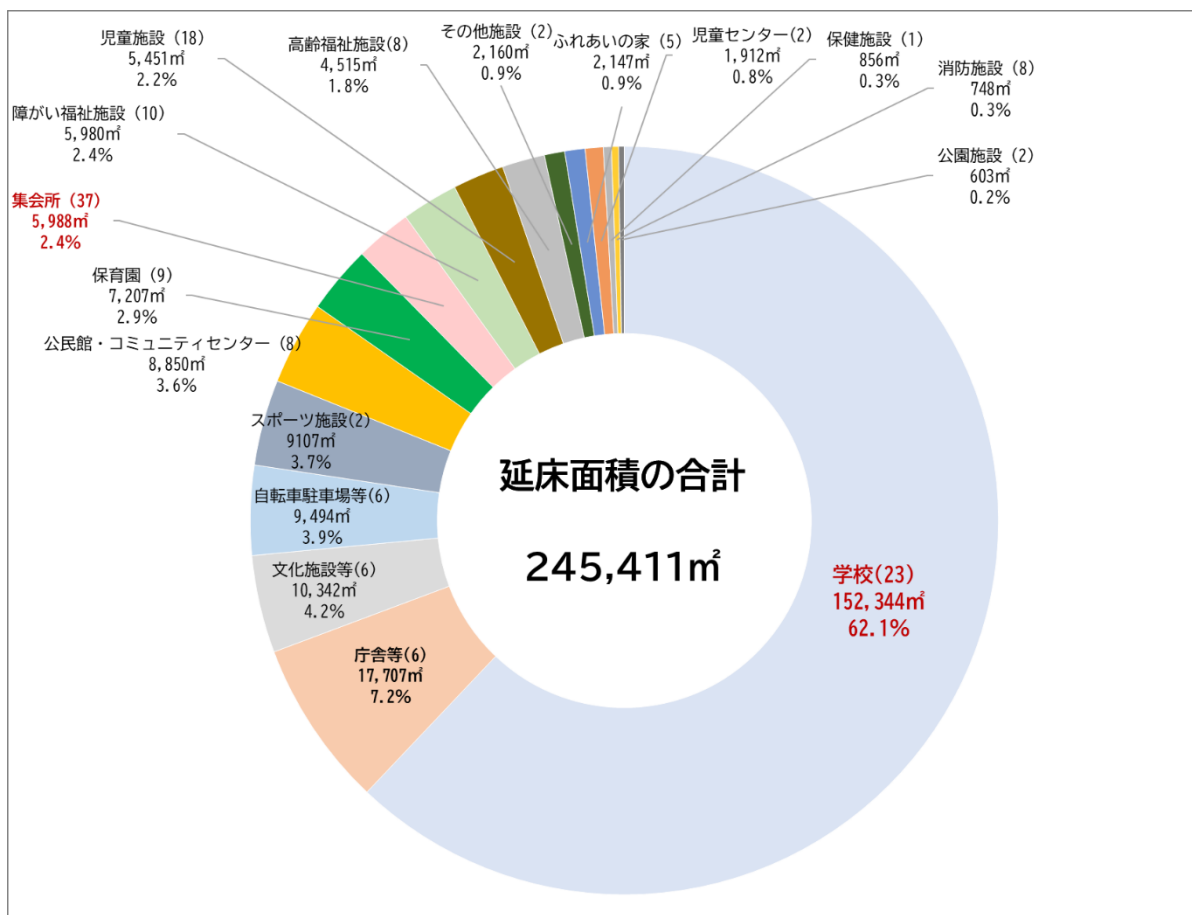
図表 近隣市及び人口規模が類似している市の一人当たり公共施設面積 [単位：㎡/人]



出典：総務省公表「公共施設等総合管理計画の主たる記載内容等を取りまとめた一覧表(令和5年3月31日現在)」を基に市で加工して作成

なお、17 類型別では、最も延床面積が多い類型は学校で 152,344 m² (23 校) です。最も施設数が多い集会所は 37 施設です。

図表 施設類型別延床面積（令和7年3月末時点） [単位：m²]



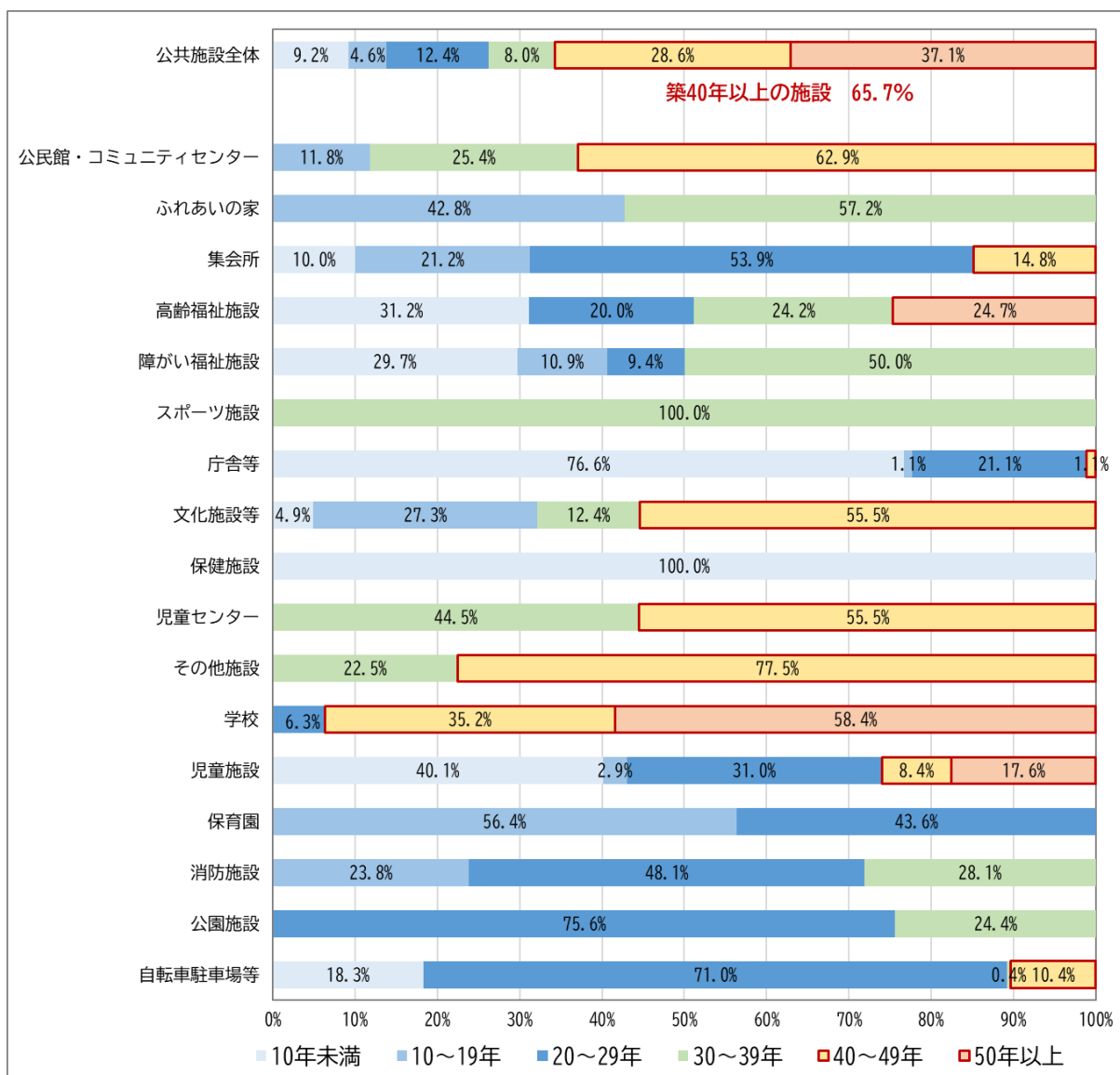
出典：市保有データに基づき作成

(2) 経過年数

令和7年(2025年)3月時点の築年数別延床面積の割合は、公共施設全体では築50年以上が全体の約37%、築40~49年が約29%を占めており、両者を合わせると約66%となっています。

施設類型別では、築40年以上の割合が高いのは学校で約94%、続いてその他施設が約78%、公民館・コミュニティセンターが約63%となっています。

図表 築年数別延床面積の割合(令和7年3月末時点) [単位: %]



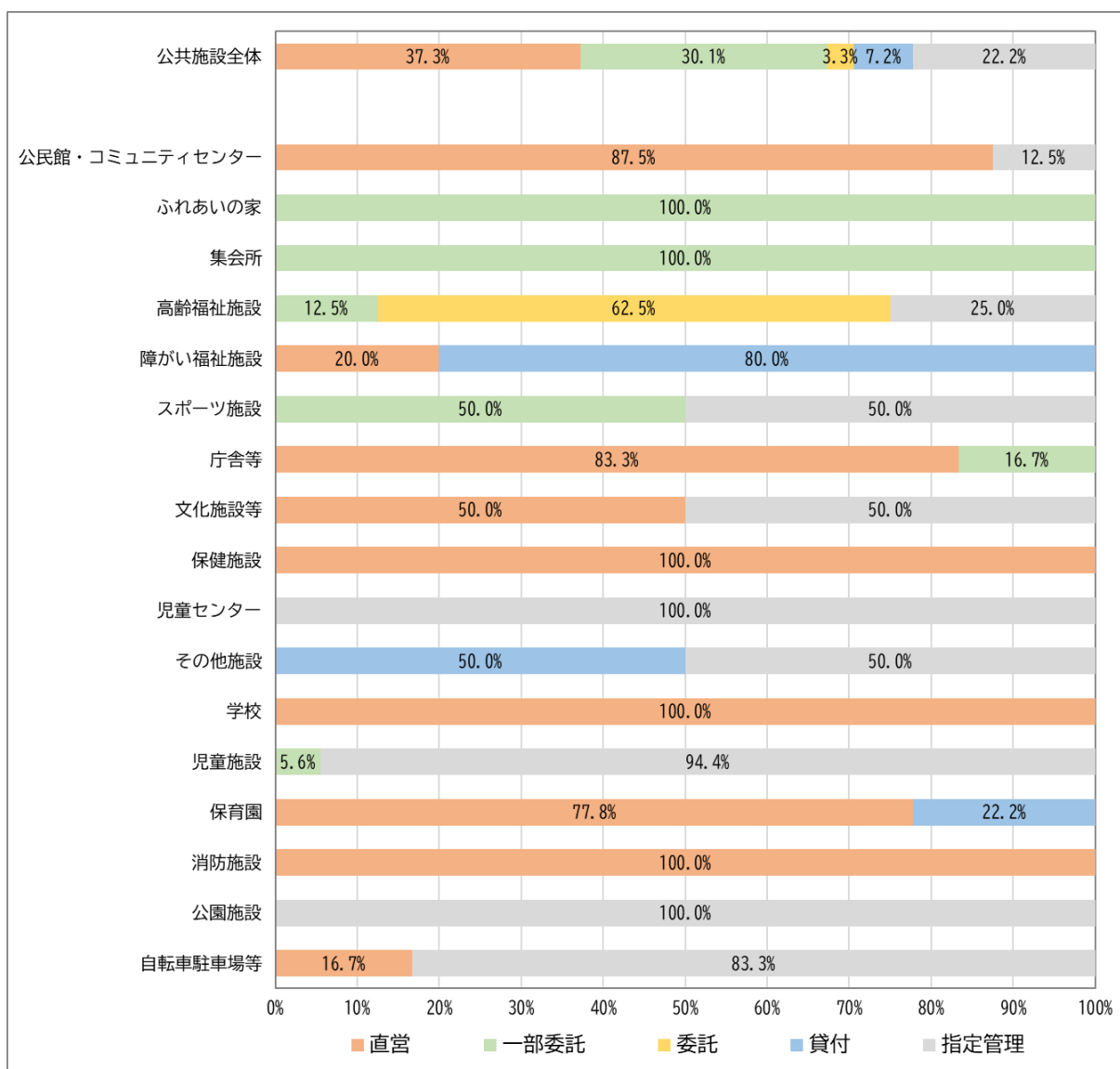
出典：市保有データに基づき作成

(3) 管理状況

令和7年（2025年）3月時点の施設の運営形態は、公共施設全体では直営が全体の約37%を占めており、続いて一部委託が約30%、指定管理が約22%の順となっています。

類型別では、保健施設、学校、消防施設は直営、ふれあいの家と集会所は一部委託、児童センターと公園施設は指定管理となっています。また、委託している施設がある類型は高齢福祉施設、貸付している施設がある類型は障がい福祉施設とその他施設、保育園となっています。

図表 類型別管理状況の施設数割合（令和7年3月末時点） [単位：%]

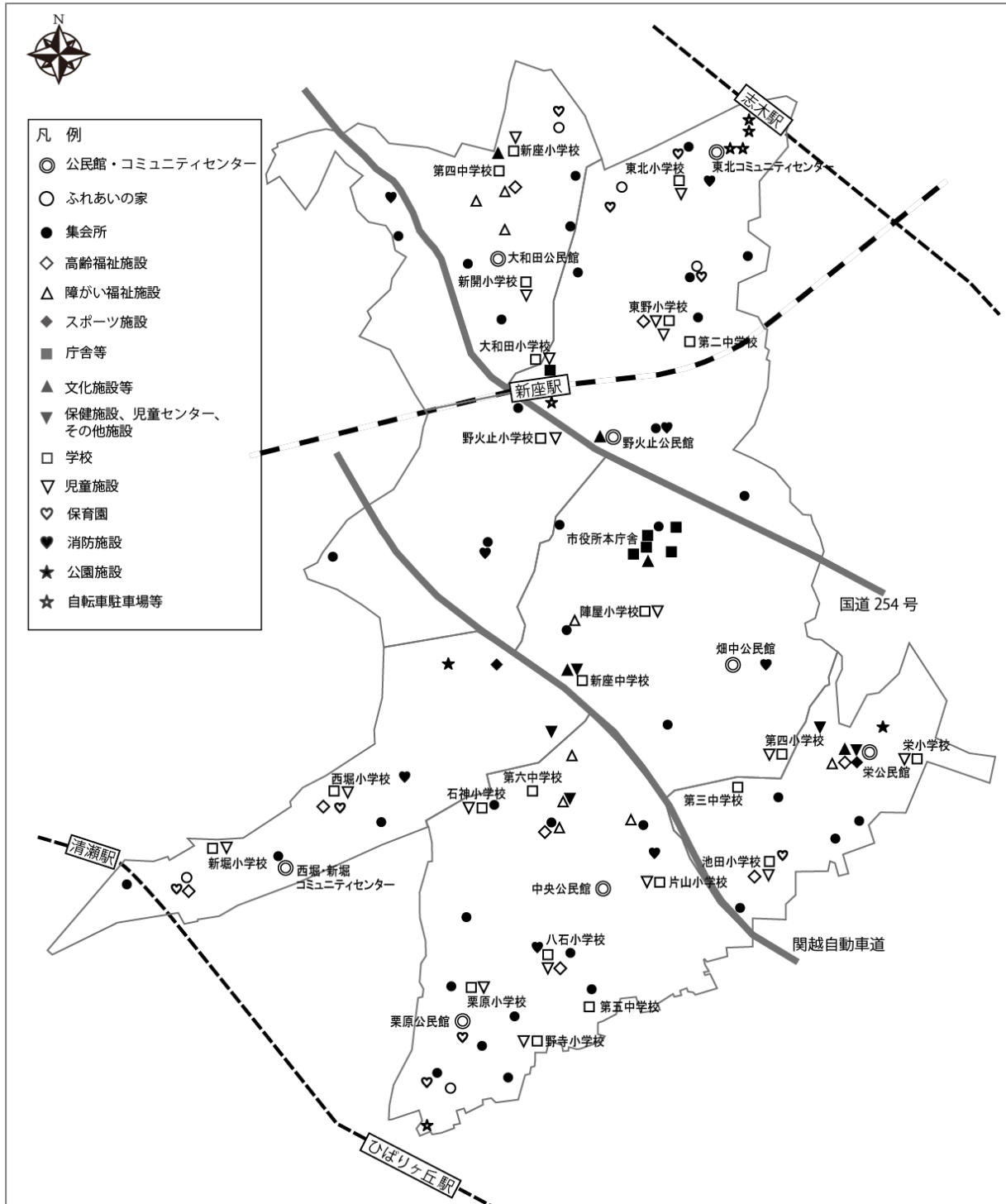


出典：市保有データに基づき作成

(4) 設置状況

本計画の対象となる公共施設 153 施設の設置状況は以下のとおりです。

図表 施設類型別位置図



2-2. 公共施設に関する費用

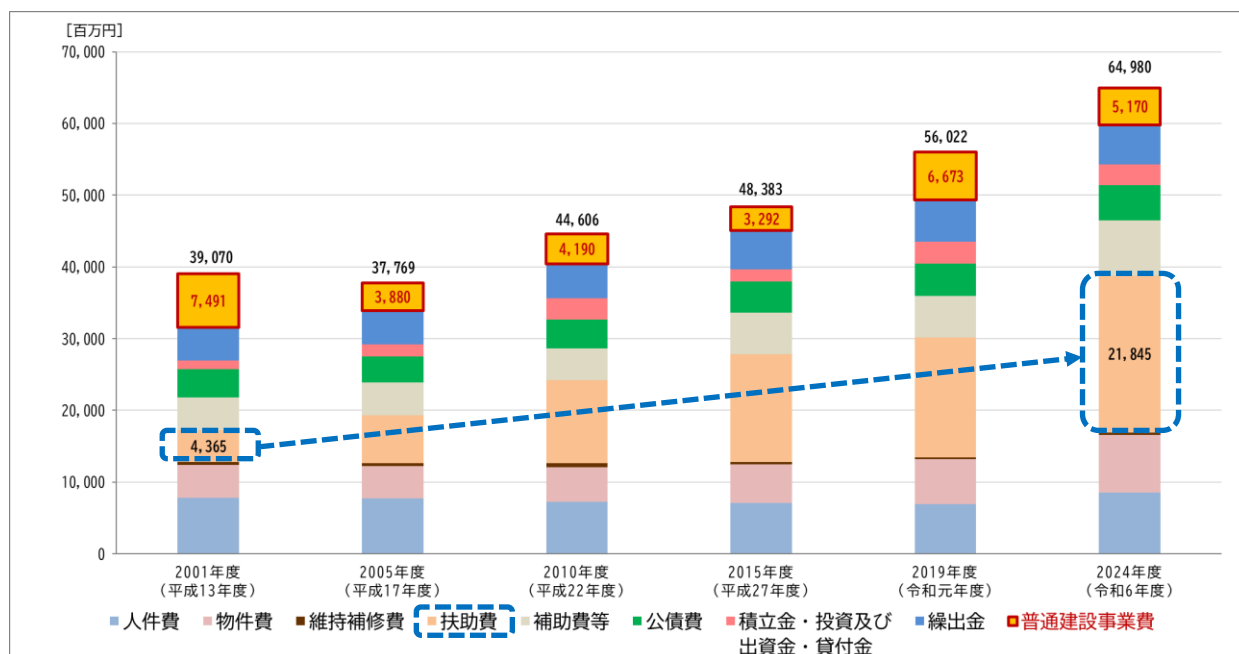
(1) 市の財政状況

令和6年度(2024年度)決算における一般会計の歳出総額は、約650億円です。平成13年度(2001年度)からの推移を見ると、扶助費の増加が顕著であり、扶助費の増加が歳出全体を押し上げている状況です。

なお、公共施設等の維持管理・修繕・更新に充てられる「普通建設事業費(投資的経費)」は、令和元年度(2019年度)から令和6年度(2024年度)までの平均で約43.7億円となっています。

今後、少子高齢化の進行を見据えると、扶助費等の社会保障経費がより一層増大し、市全体の財政運営がこれまで以上に厳しくなると考えられます。

図表 支出(歳出)総額の推移[単位:百万円]



出典：新座市財政部財政課

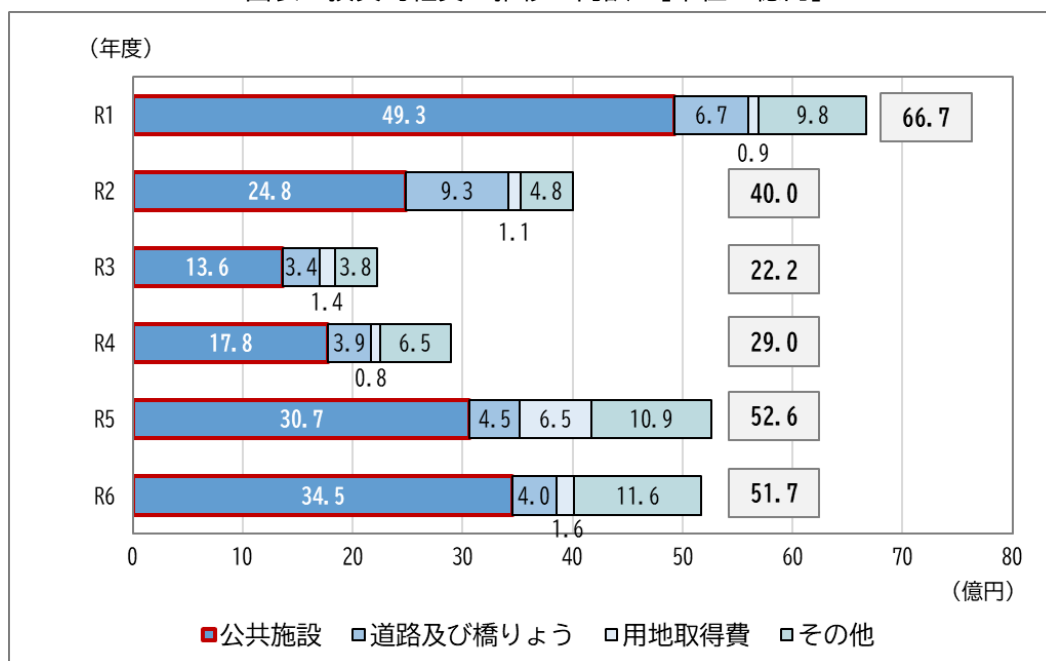
(2) 投資的経費の現状

令和6年度（2024年度）決算における投資的経費（道路の整備や施設建設など、将来にわたる資産の形成のために支出する経費）は約51.7億円、そのうち、公共施設の改修や更新等に係る投資的経費は約34.5億円となっています。

また、令和元年度（2019年度）から令和6年度（2024年度）までの投資的経費を経年的に見ると、施設整備の種類や規模により年度によるばらつきがありますが、特に令和2年（2020年）10月から令和4年（2022年）3月末までは財政非常事態宣言による財政再建の取組により一部の事業の執行停止や先送りによって、歳出の抑制が図られました。

こうした要因を背景とした上で、令和元年度（2019年度）から令和6年度（2024年度）までの6年間にわたる公共施設の改修や更新等に係る投資的経費の平均値は約28.4億円となっています。

図表 投資的経費の推移と内訳 [単位：億円]



※グラフ右側の数字は各年度の公共施設、道路及び橋りょう、用地取得費、その他の投資的経費の合計額



**公共施設の改修や更新等に係る費用は年間：約28.4～34.5億円
（令和元年度から令和6年度までの投資的経費の平均値・令和6年度決算額）**

(3) 維持管理の現状

令和6年度（2024年度）実績における各施設の維持管理費の合計は約14.2億円、指定管理料（人件費除く。）の合計は約3.6億円、両者で約17.8億円となっています。

令和元年度から6年間の推移をみると維持管理費、指定管理料（人件費除く）共に徐々に増加しています。

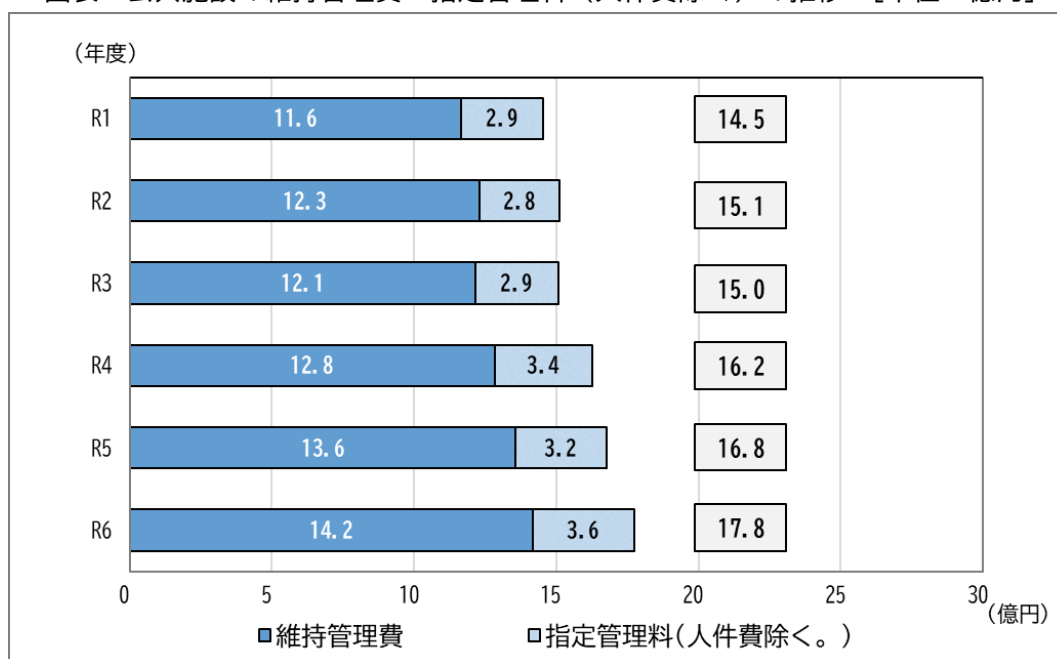
1) 維持管理費

維持管理費は、光熱水費や清掃業務委託料、修繕費等、建物の維持管理に要した直接的な経費のことです。

2) 指定管理料（人件費除く）

指定管理者制度を導入している施設の維持管理、提供しているサービスや実施している事業等に要した経費のことです（ただし、人件費は含みません。）。

図表 公共施設の維持管理費・指定管理料（人件費除く）の推移 [単位：億円]



※グラフ右側の数字は各年度における公共施設の維持管理費と指定管理料（人件費除く。）の合計額



**公共施設の維持管理に係る費用は年間：約17.8億円
(令和6年度決算額)**

2-3. 市民や利用者の意向

(1) 市民意向調査

1) 調査概要

①調査対象及び調査方法

「新座市公共施設再配置計画策定に向けた市民アンケート調査」の調査対象及び調査方法は以下のとおりです。 〈資料編 207 ページ～参照〉

調査対象：市内在住の18歳以上の市民
調査件数：3,000件
抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出（年代及び居住地区区分による）
調査方法：郵送による配布・回収（Webによる回答可）。

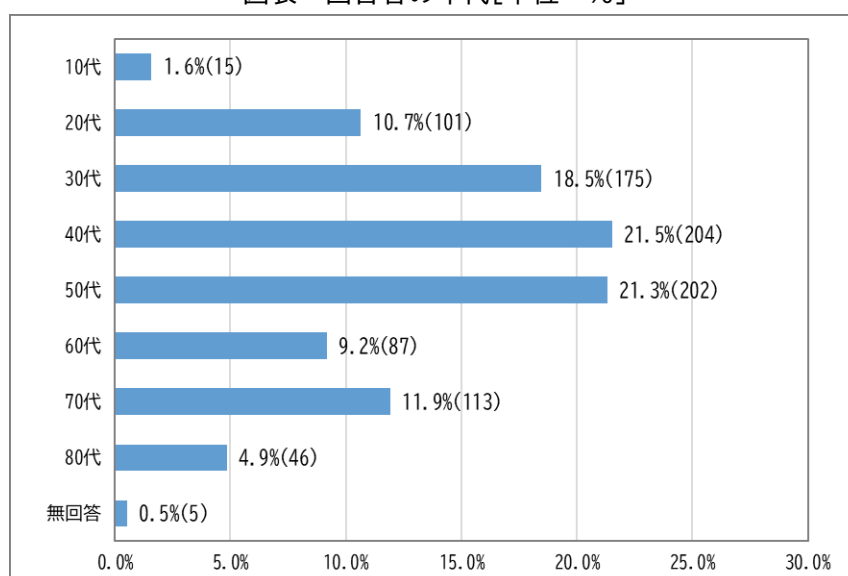
②調査期間と回答結果

「新座市公共施設再配置計画策定に向けた市民アンケート調査」の調査期間及び回答結果は以下のとおりです。

なお、回答者の年代は40代と50代がそれぞれ2割以上を占めており、続いて30代が2割弱となりました。 〈資料編 219 ページ～参照〉

配布期間：令和7年1月7日から順次発送
回答期限：令和7年1月27日（Web回答）、2月3日（郵送）
回答数：948件（紙面回答：633件、Web回答：315件）
回答率：31.6%

図表 回答者の年代[単位：%]



※（ ）内は回答数

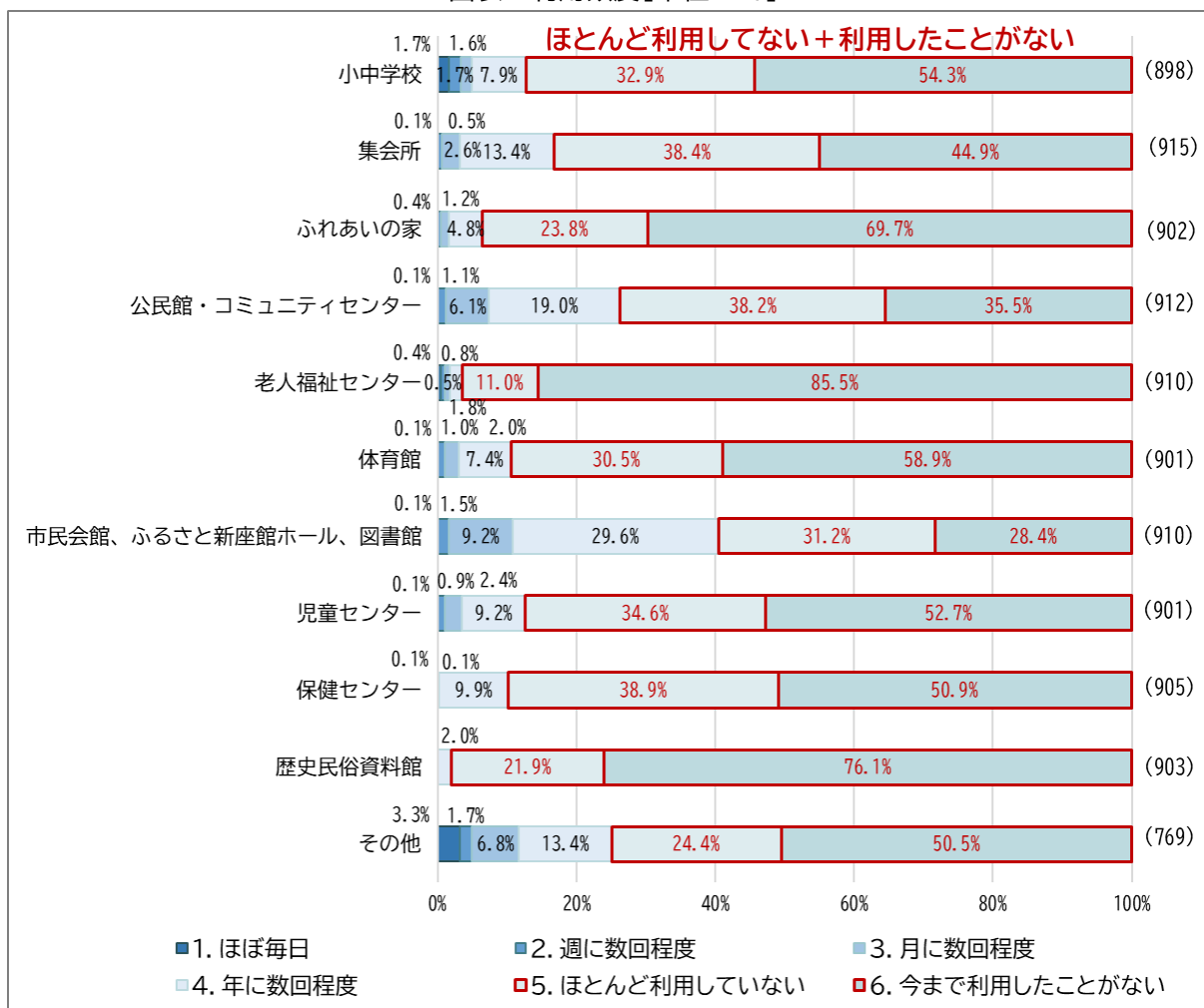
2) 調査結果の概要

①公共施設の利用頻度

多くの施設で「ほとんど利用していない」が2割以上、「今まで利用したことがない」が半数以上を占めています。

「年に数回程度」以上の利用が最も多かった「市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館」でも、「ほとんど利用していない」、「今まで利用したことがない」が合わせて約6割、最も利用頻度が少ない「歴史民俗資料館」では、合わせて9割以上の結果となりました。

図表 利用頻度[単位：%]



※ () 内は回答数



図書館等の文化施設や公民館・コミュニティセンター以外の施設は
ほとんど利用されていない

②公共施設の建物や設備（満足度）

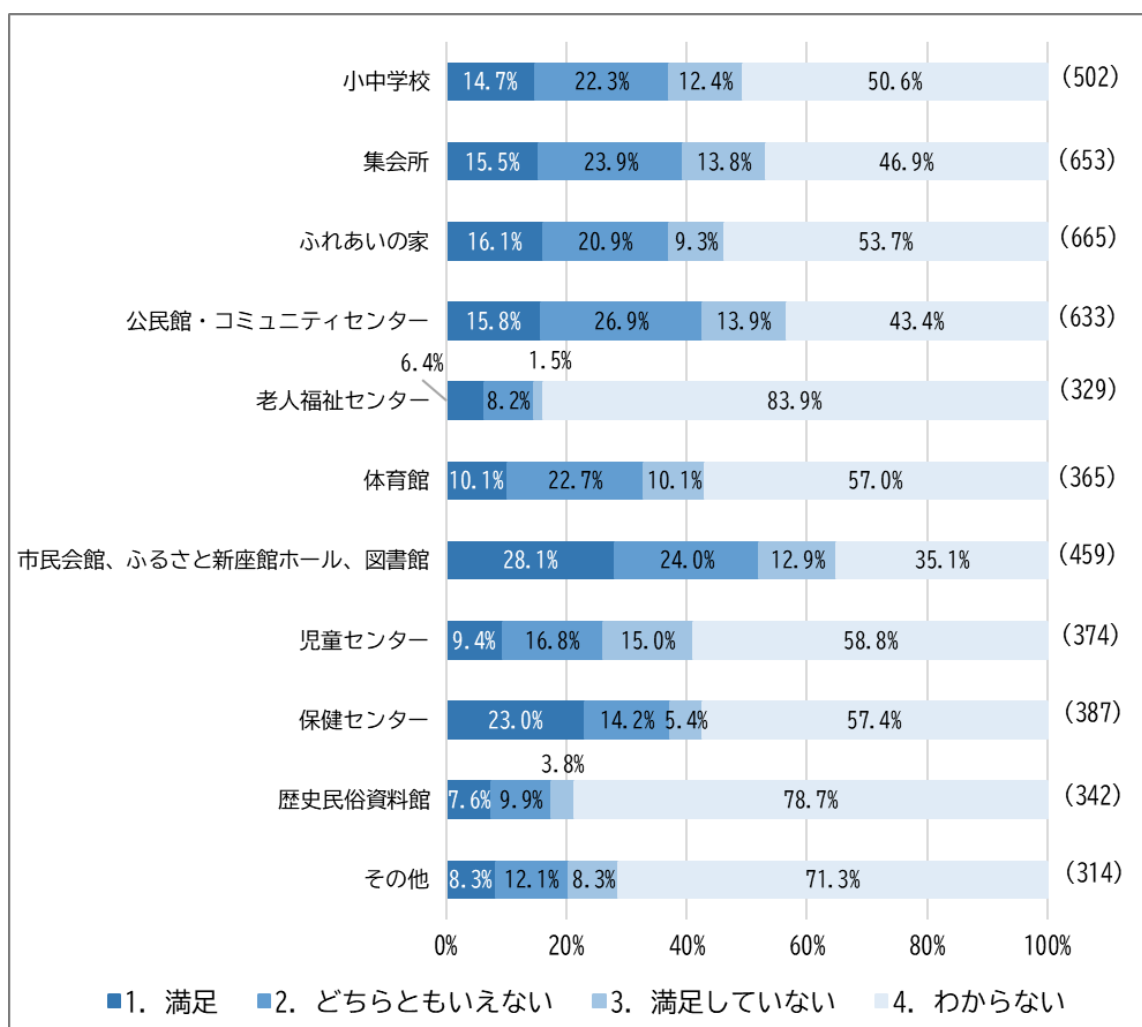
いずれの施設でも「わからない」が最も多い結果となりました。

「満足」の割合は「市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館」が最も多く、次いで「保健センター」が多い結果でした。

「満足していない」の割合は「児童センター」が最も多く、次いで「公民館・コミュニティセンター」が多い結果でした。

「児童センター」は、「満足」より「満足していない」の割合のほうが多くなりました。

図表 建物や設備の満足度[単位：%]



※（ ）内は回答数



**比較的新しい施設については満足度が高く
老朽化している施設については満足度が低い**

③公共施設の設置状況(満足度)

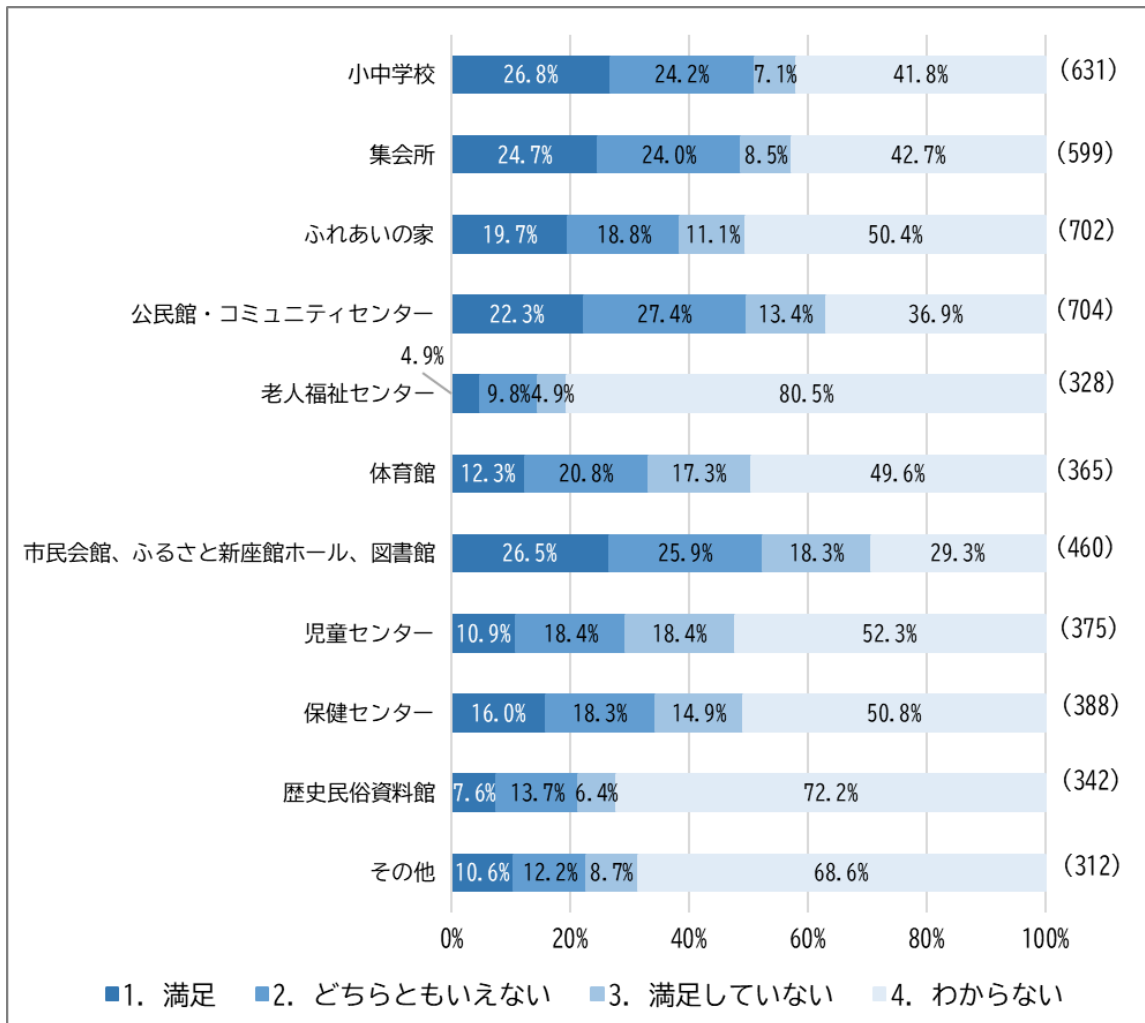
いずれの施設でも「わからない」が最も多い結果となりました。

「満足」は「小中学校」が最も多く、次いで「市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館」が多い結果でした。

「満足していない」は「児童センター」が最も多く、次いで「市民会館、ふるさと新座館ホール、図書館」が多い結果でした。

「体育館」、「児童センター」は、「満足」より「満足していない」の割合のほうが多くなりました。

図表 設置状況の満足度[単位：％]



※ () 内は回答数

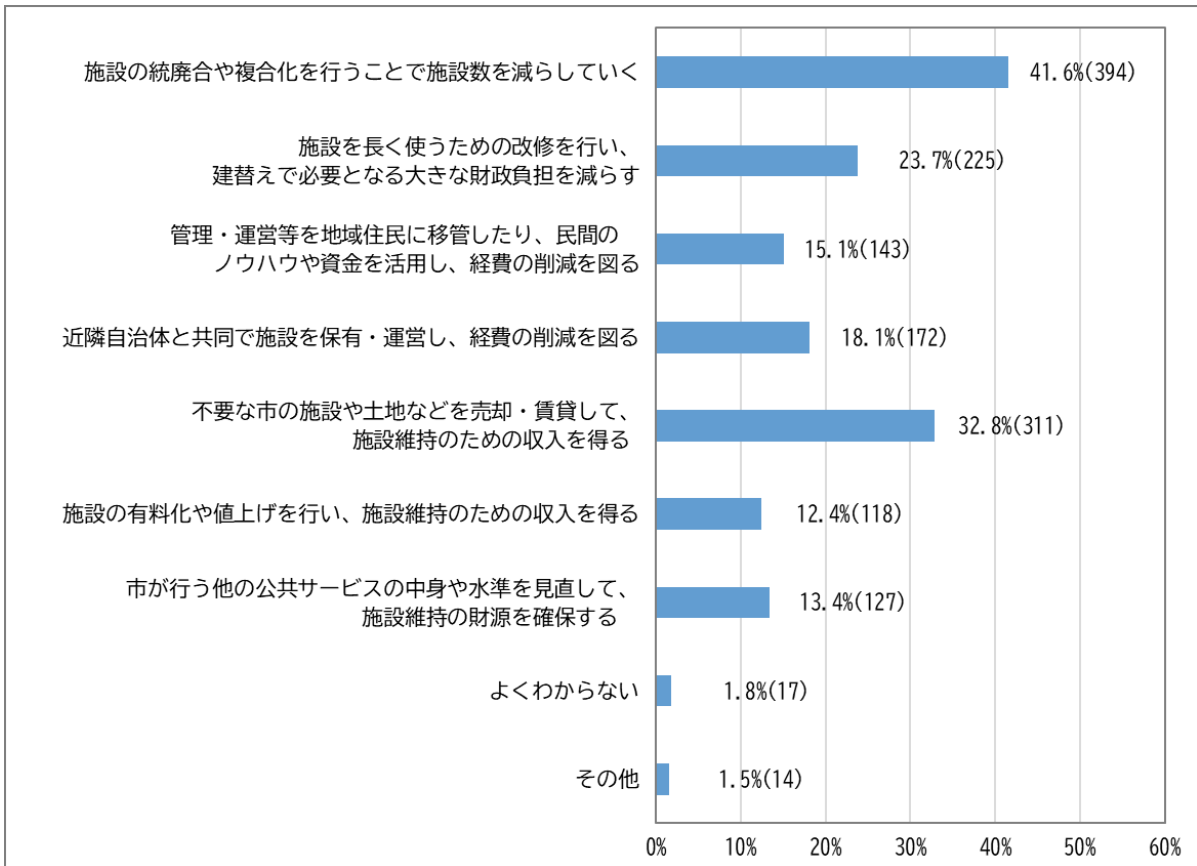


**市内に設置数が少ない施設については満足度が低い
(体育館、市民会館等、児童センター、保健センター)**

④公共施設を維持可能とするための方策

「市の公共施設を維持可能とするために、今後どのようにしていきべきだと思いますか。」という設問について、2つまで選択として回答を求めたところ、「施設の統廃合や複合化を行うことで施設数を減らしていく」が約4割と最も多く、続いて「不要な市の施設や土地などを売却・賃貸して、施設維持のための収入を得る」が約3割となりました。

図表 公共施設を維持可能とするための方策（複数回答）[単位：%]



※（ ）内は回答数

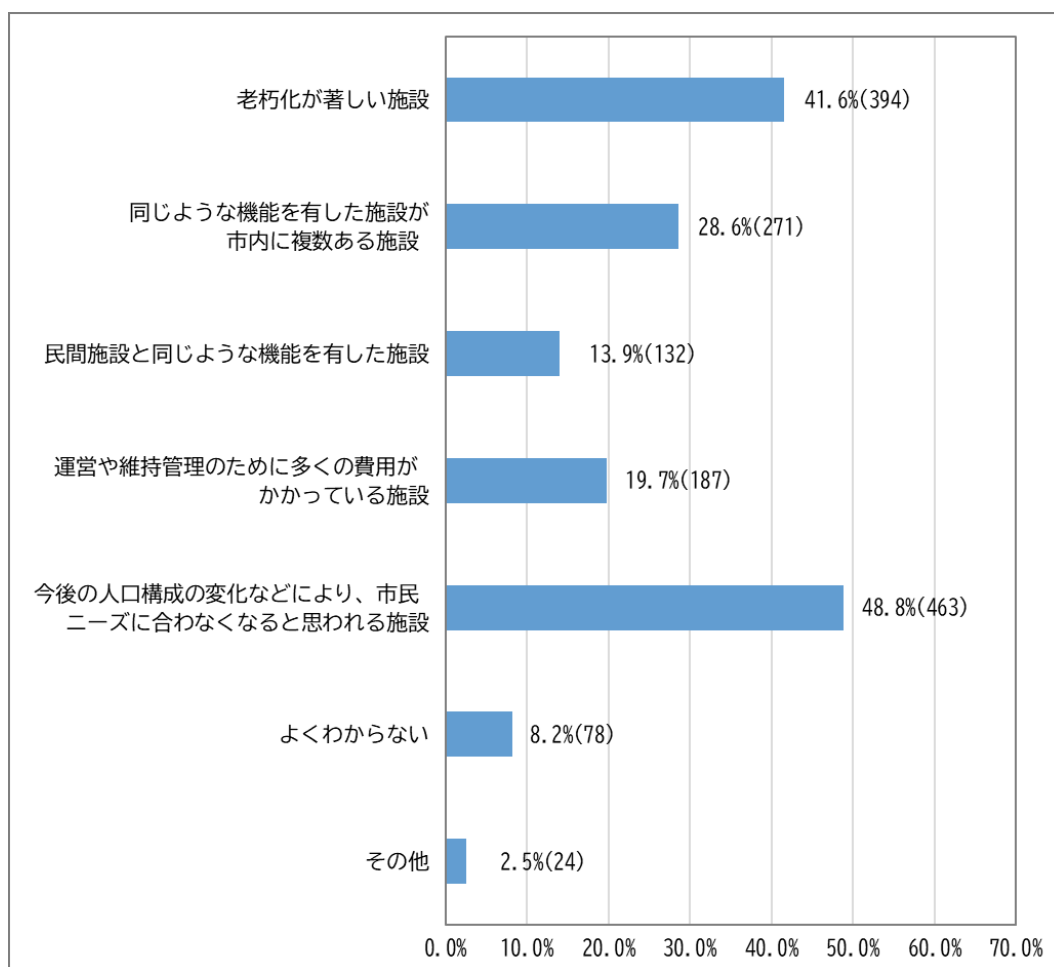


統廃合・複合化による施設数の削減や不要な施設や土地を活用して収入を得ることに対する意見が多い

⑤公共施設の統合・削減

「公共施設にかかる経費を縮減するために、維持可能な公共施設の規模に公共施設の総量（施設数）を減らしていかなければならなくなった場合、どの公共施設から統合・削減していくべきだと思いますか。」という設問について、2つまで選択として回答を求めたところ、「今後の人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなると思われる施設」が半数近くと最も多く、続いて「老朽化が著しい施設」が約4割となりました。

図表 公共施設の統合・削減（複数回答）[単位：%]



※（ ）内は回答数

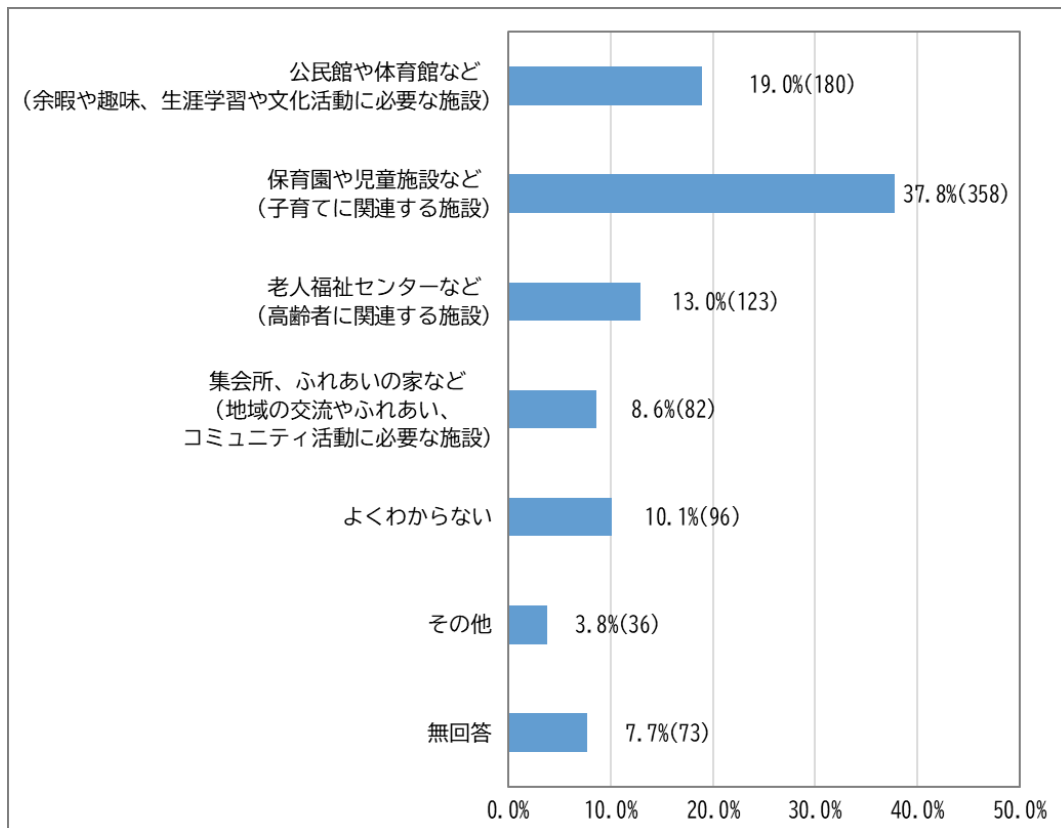


**市民ニーズに合わなくなると思われる施設や老朽化が著しい施設から
統合・削減の対象とすることについての意見が多い**

⑥維持した方がよい施設

「今後、公共施設の再編や再配置を行う必要がある場合、優先的に維持・充実していくべきと考える公共施設の種類」について、最も近い考えの選択肢を1つ選ぶものとして回答を求めたところ、「保育園や児童施設など（子育てに関する施設）」が約4割と最も多く、続いて「公民館や体育館など（余暇や趣味、生涯学習や文化活動に必要な施設）」が約2割となりました。

図表 維持した方がよい施設[単位：％]



※（ ）内は回答数

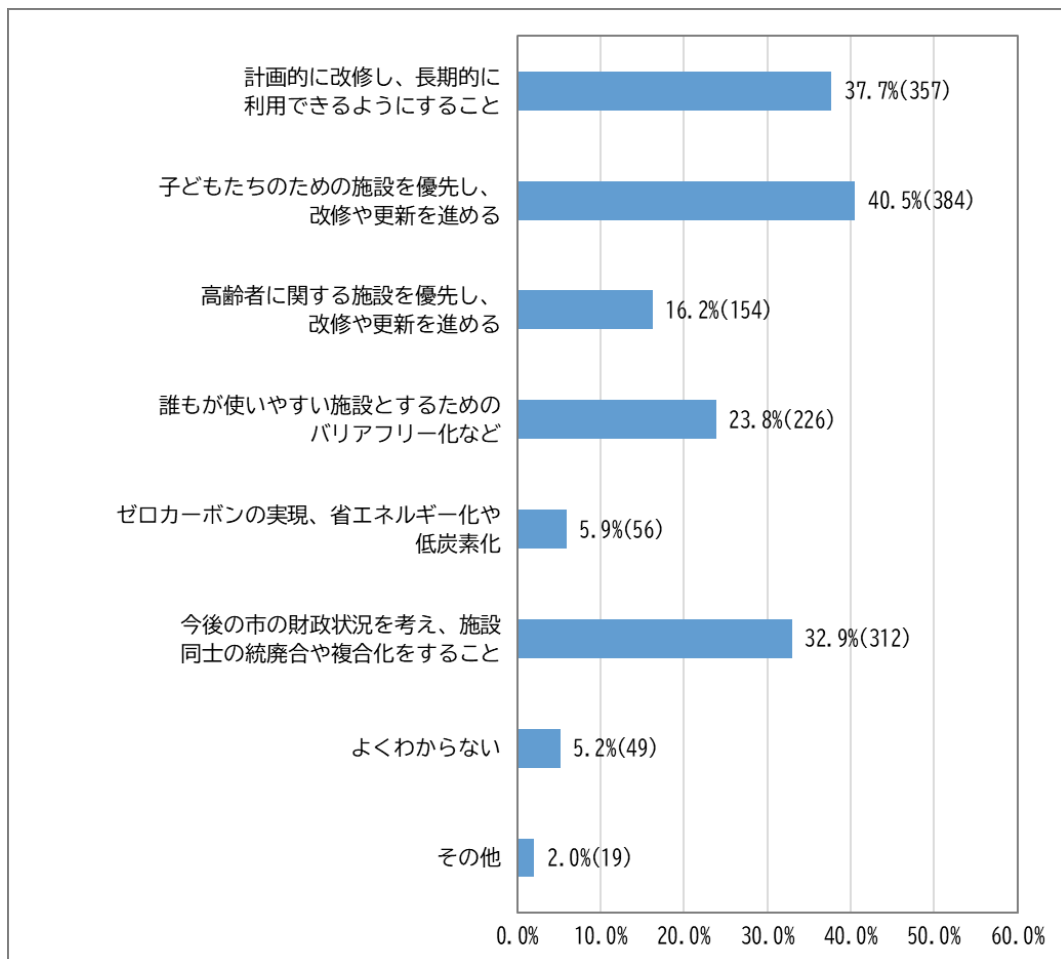


**保育園や児童施設など子育てに関する施設の
維持・充実が望まれている**

⑦施策や事業で重視すべき点

「今後、市が進めていく公共施設に関する取り組みについて、特に重視してほしいもの」について、2つまで選択として回答を求めたところ、「子どもたちのための施設を優先し、改修や更新を進める」と「計画的に改修し、長期的に利用できるようなこと」が約4割となりました。

図表 施策や事業で重視すべき点[単位：%]



※（ ）内は回答数



**子どもたちのための施設を優先すること
計画的な改修で長期利用することが望まれている**

(2) 利用者アンケート調査

1) 調査概要

①調査対象及び調査方法

「利用者アンケート調査」の対象施設及び調査方法は以下のとおりです。

〈資料編 257 ページ～参照〉

対象施設：不特定多数の利用がある 20 施設（図表参照）

調査対象：対象施設利用者

調査方法：施設で直接配布し、設置したボックスへ投函

②調査期間と回答結果

「利用者アンケート調査」の調査期間及び回答結果は以下のとおりです。

「野火止公民館」や「老人福祉センター」、「第二老人福祉センター」などで回答が多くなりました。

〈資料編 259 ページ～参照〉

配布期間：令和6年8月8日から順次配布

回答期限：令和6年8月29日

回答数：1,742 件

図表 利用者アンケート調査対象施設及び回答数[単位：件]

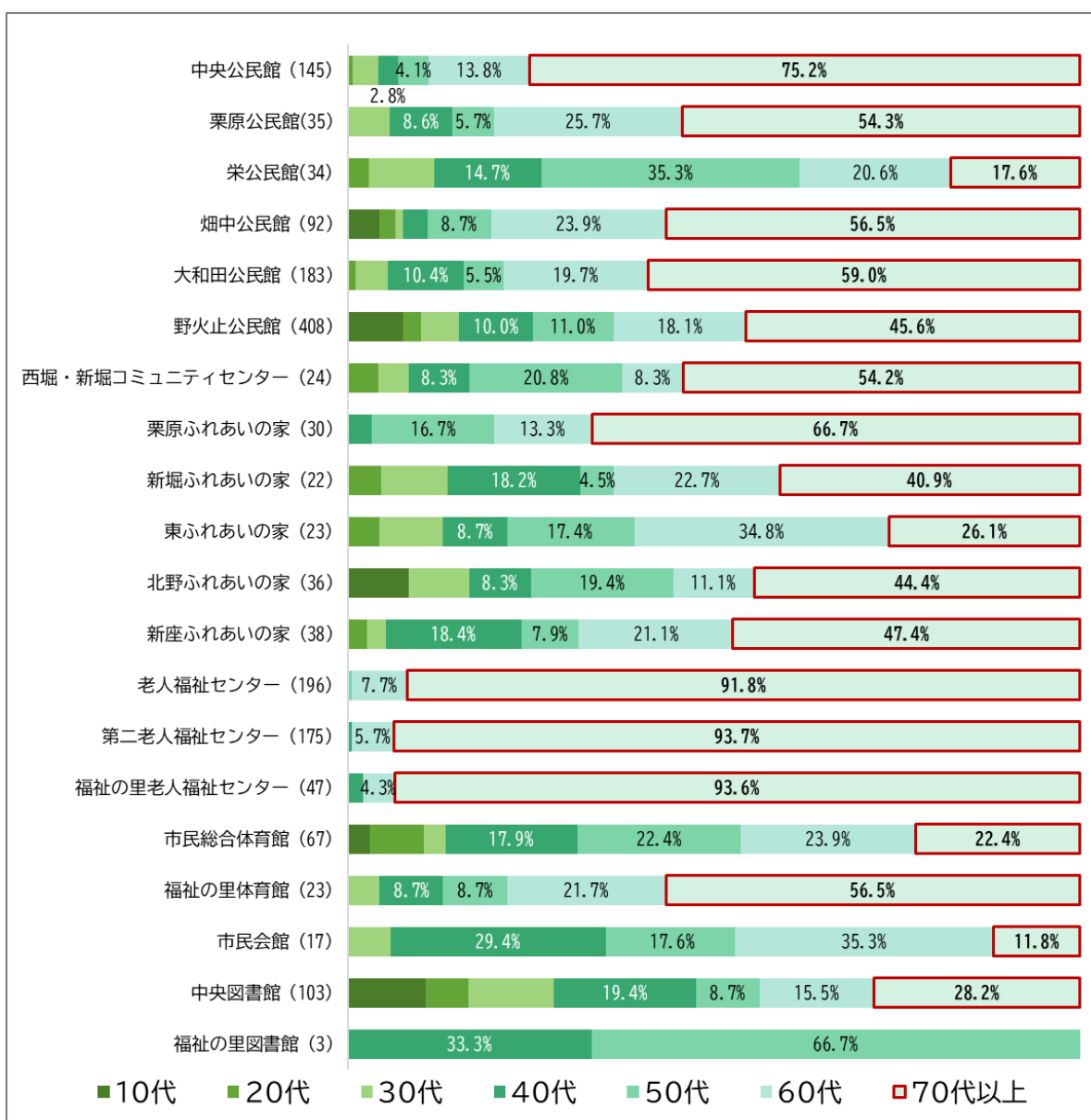
No.	施設名	回答数
1	中央公民館	147
2	栗原公民館	37
3	栄公民館	34
4	畑中公民館	93
5	大和田公民館	194
6	野火止公民館	421
7	西堀・新堀コミュニティセンター	24
8	栗原ふれあいの家	31
9	新堀ふれあいの家	22
10	東ふれあいの家	23
11	北野ふれあいの家	36
12	新座ふれあいの家	38
13	老人福祉センター	197
14	第二老人福祉センター	179
15	福祉の里老人福祉センター	47
16	市民総合体育館	68
17	福祉の里体育館	25
18	市民会館	18
19	中央図書館	105
20	福祉の里図書館	3
合計		1,742

2) 調査結果の概要

①利用者の年代

回答者の年代は、ほとんどの施設で70代以上が最も多くなっていますが、「東ふれあいの家」や「市民総合体育館」、「市民会館」では60代、「栄公民館」と「福祉の里図書館」では50代が最も多くなりました。

図表 施設利用者の年代[単位：%]



※ () 内は回答数、なお構成比は40代以上を記載



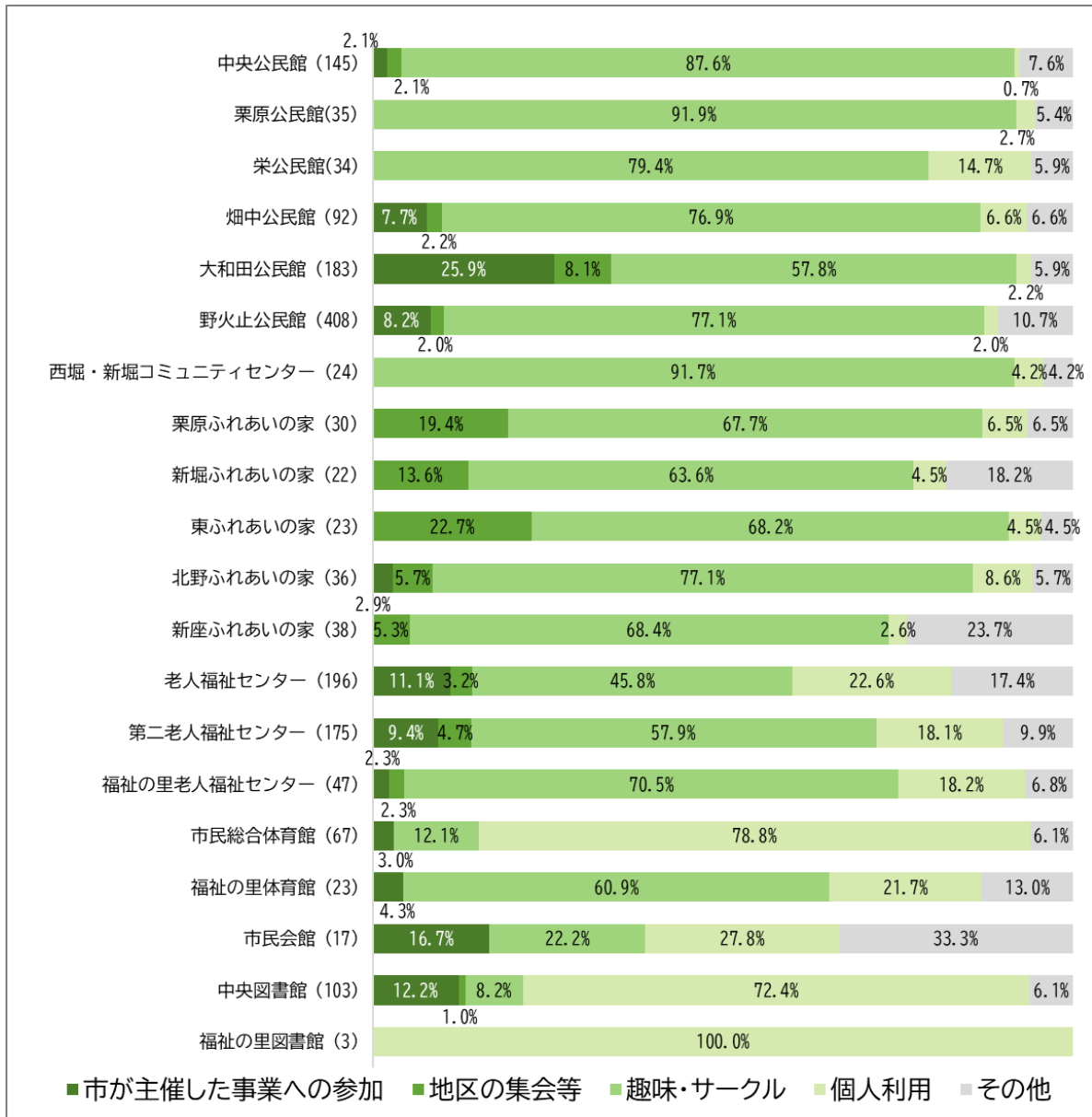
ほとんどの施設では70代以上の利用が多い
 栄公民館、市民総合体育館、市民会館、中央図書館では50代以下の割合が比較的多い

②利用目的

施設の利用目的のうち、「市民総合体育館」、「市民会館」、「中央図書館」、「福祉の里図書館」では「個人利用」の割合が高く、それ以外の施設では「趣味・サークル」の割合が最も高くなりました。

また、「大和田公民館」では「市が主催した事業への参加」、「東ふれあいの家」や「栗原ふれあいの家」では「地区の集会等」の割合が他の施設に比べて高くなりました。

図表 施設の利用目的[単位：％]



※ () 内は回答数



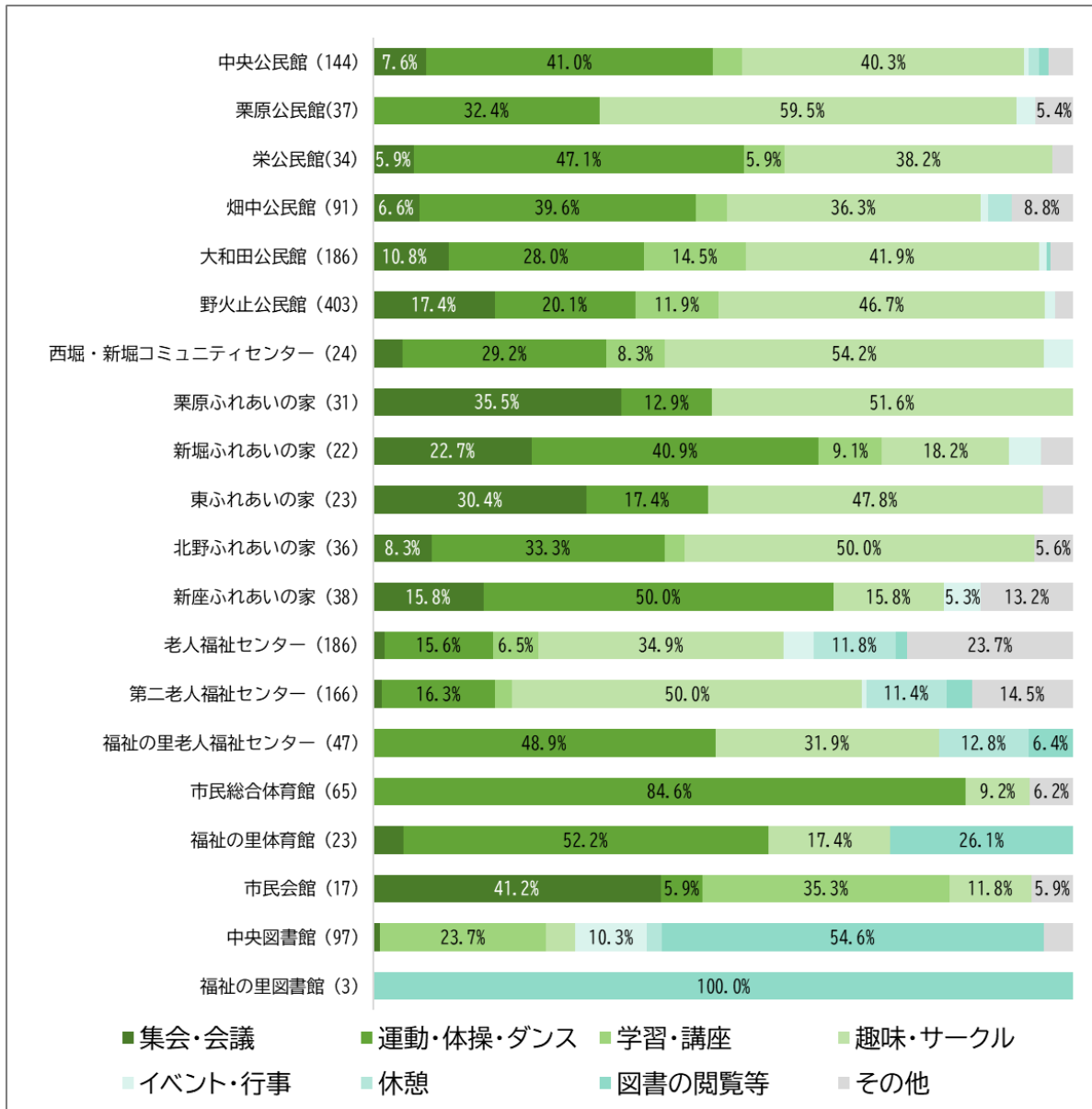
公民館等では「趣味・サークル」が大半を占める
市民会館や図書館、体育館では「個人利用」が多い

③利用内容

施設の利用内容は、公民館及びふれあいの家では「趣味・サークル」と答えた方の割合が最も多い施設が12施設中7施設、続いて「運動・体操・ダンス」と答えた方の割合が最も多い施設が5施設となりました。

なお、各ふれあいの家と市民会館では「集会・会議」と答えた方が比較的多く、高齢者施設の3施設では「休憩」と答えた方の割合が約1割となりました。

図表 施設の利用内容[単位：%]



※ () 内は回答数、なお構成比は主なものを記載



公民館等では「趣味・サークル」、「運動・体操・ダンス」の利用が多い
各ふれあいの家、市民会館では「集会・会議」の利用も多い

④利用した場所

施設で主に利用した場所（部屋）のうち、割合が高い上位3つについては各施設で下記のとおりとなりました。

公民館等では、「体育室」や「軽体育室」などの運動ができる場所（部屋）の利用が多く、続いて「会議室」や「研修室」などの利用が多くなりました。

図表 利用した場所（部屋）の上位[単位：件]

施設名	主に利用した場所（部屋）【上位3つ】		
	1位	2位	3位
中央公民館	体育室 33	レクリエーション室 23	視聴覚室 18
栗原公民館	軽体育室 12	会議室 10	実習室、児童室 5
栄公民館	軽体育室 11	会議室 8	児童室 4
畑中公民館	軽体育室 33	講義室 21	児童室 15
大和田公民館	軽体育室 51	研修室 29	和室 28
野火止公民館	講義室 134	音楽室 80	軽体育室 68
西堀・新堀コミュニティセンター	児童遊戯室 5	体育室 4	郷土資料展示室、集会室 3
栗原ふれあいの家	ホール 10	実習室 8	会議室 5
新堀ふれあいの家	ホール 10	和室 4	会議室 3
東ふれあいの家	会議室 8	和室 5	ホール 4
北野ふれあいの家	会議室 12	軽体育室 11	音楽室 8
新座ふれあいの家	軽体育室 20	会議室 10	実習室、和室 2
老人福祉センター	浴室 28	大広間 26	会議室 20
第二老人福祉センター	大広間 58	大浴場 34	娯楽室 10
福祉の里老人福祉センター	機能訓練室 9	講義室 6	浴室 5
市民総合体育館	トレーニング室 43	ウエイトリフティング室 3	武道場 3
福祉の里体育館	アリーナ 12	—	—
市民会館	会議室 13	ホール 3	リハーサル室 2
中央図書館	図書室 39	学習室 15	会議室 5



公民館等では「体育室・軽体育室」の利用が多い

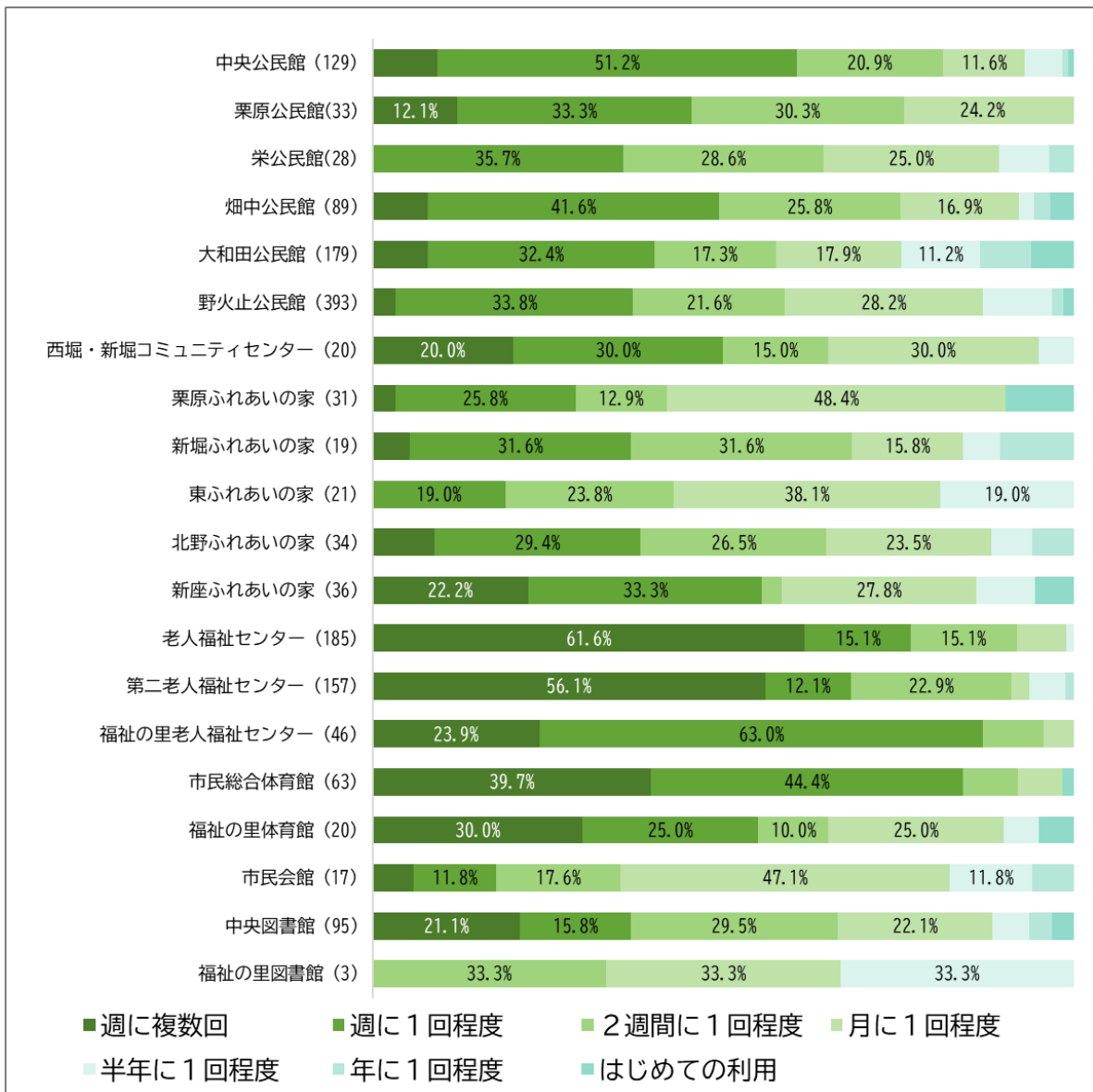
⑤利用頻度

施設の利用頻度は、公民館等の大半と「福祉の里老人福祉センター」、「市民総合体育館」では、「週に1回程度」が最も多くなりました。

なお、「栗原ふれあいの家」、「東ふれあいの家」、「市民会館」では、「月に1回程度」が多く、「中央図書館」では、「2週間に1回程度」が多くなりました。

また、「老人福祉センター」、「第二老人福祉センター」、「福祉の里体育館」では「週に複数回」が最も多くなりました。

図表 利用頻度[単位：％]



※ () 内は回答数、なお構成比は主なものを記載



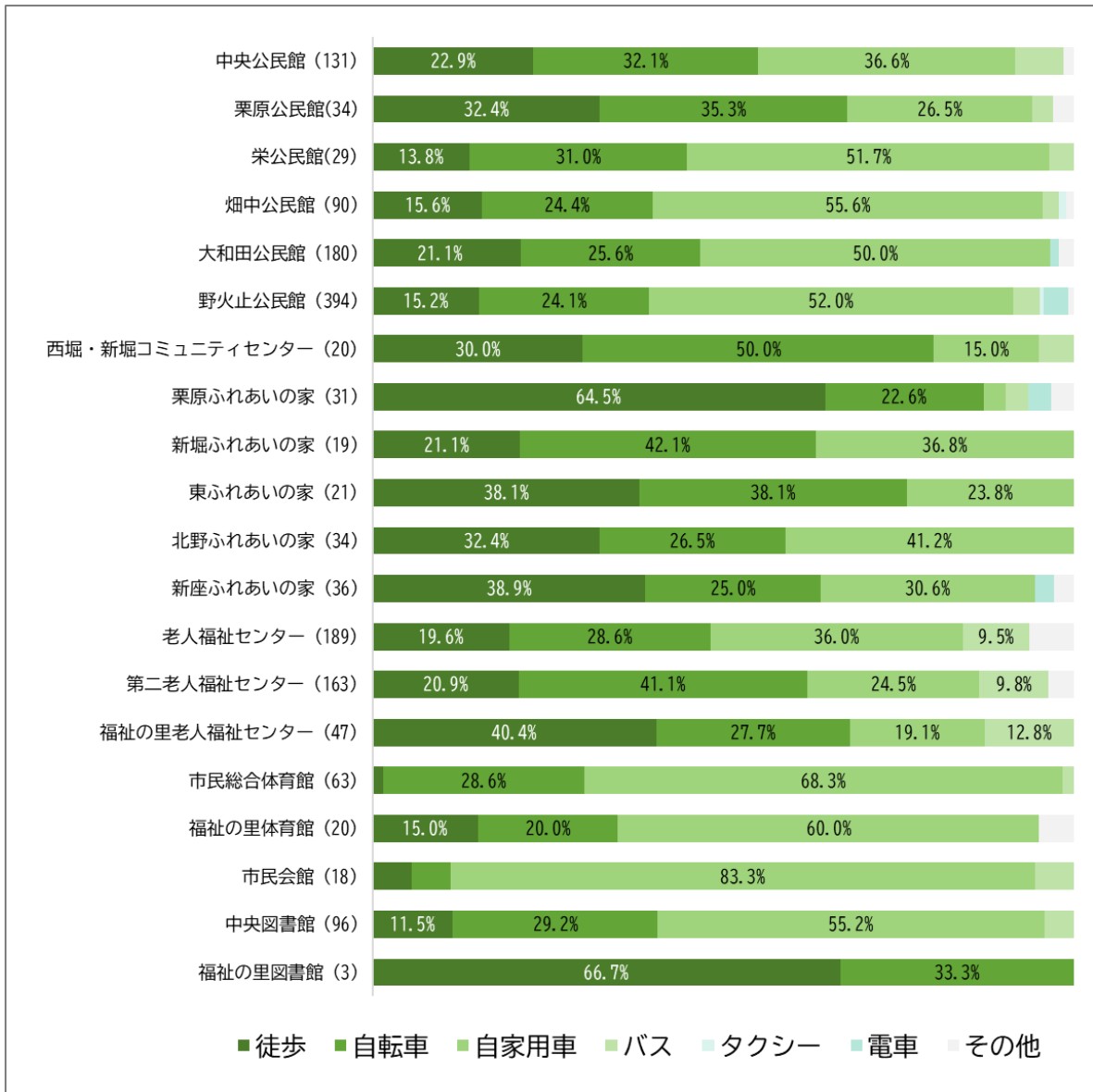
**公民館等では「週1回程度」の利用が多い
高齢者施設では「週に複数回」の利用が多い**

⑥施設への交通手段

施設への交通手段として最も多かったのは20施設中11施設で自家用車でした。また、5施設では徒歩、4施設では自転車と回答した方が最も多くなりました。

公共交通機関と回答した方は全体的に少ないですが、3か所の老人福祉センターについては約1割の方がバスを使って施設を訪れているという結果になりました。

図表 施設への交通手段[単位：％]



※ () 内は回答数、なお構成比は主なものを記載



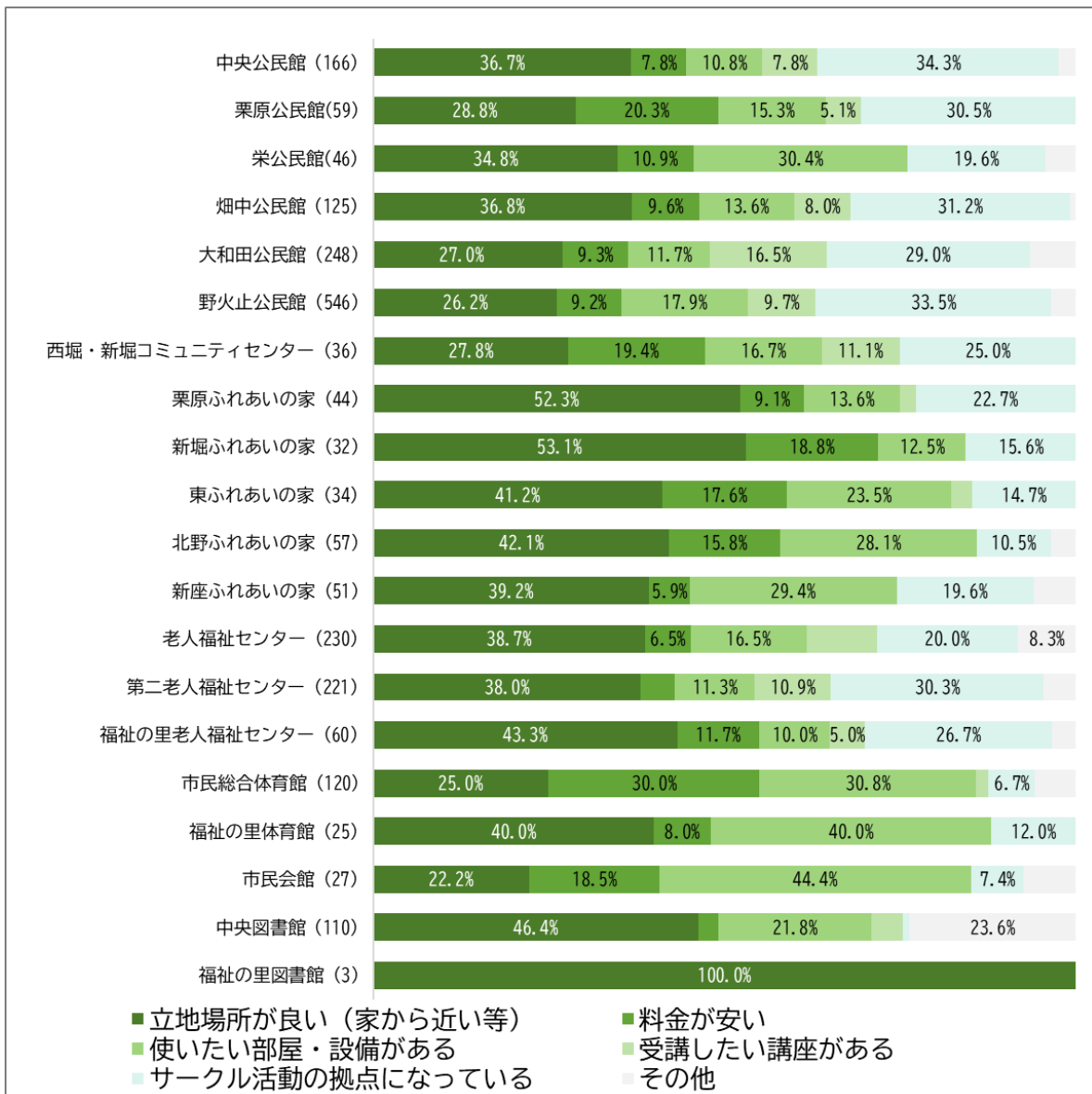
**公民館等では「徒歩」の利用も多い
高齢者施設では「徒歩」と「自転車」の利用が多い**

⑦利用理由

施設の利用理由は、多くの施設で「立地場所が良いから（家から近い等）」と答えた方が最も多くなりました。

ただし、「市民総合体育館」、「福祉の里体育館（立地場所が良いからと同数）」、「市民会館」の3施設では、「使いたい部屋・設備がある」と答えた方が最も多く、「栗原公民館」、「大和田公民館」、「野火止公民館」の3施設では「サークル活動の拠点になっている」と答えた方が最も多くなりました。

図表 利用理由（複数回答）[単位：％]



※ () 内は回答数、なお構成比は主なものを記載



ふれあいの家では立地の良さと活動拠点が利用理由となっている
市民会館と体育施設では使用したい部屋や設備が利用理由となっている

